



伝える仕事、気づかせる仕事

工藤 千鶴

「館報はと笛」を手に取ったあなた。気づいてくれてありがとうございます。拙い文章ですが、まあ暇つぶしにでもしてください。

弘前市立図書館・郷土文学館の指定管理者として携わっているアップルウェーブで、私は一社員として働いています。ラジコ局である弊社には「図書館へ行こう」というコーナー番組で図書館、郷土文学館の情報発信をしています。その他、年4回発行のフリーマガジン『apli (アプリ)』でも情報を掲載し、皆さんにお届けしています。私、私はその制作を担当しております。恥ずかしながら、指定管理業務に携わっているから、図書館ではテーマに合わせた本の展示や様々な企画を設けているのだと知り、製本体験ができたり、図書館の見学やお仕事体験ができたり、学生のときにこうした企画があることに気が付いていたら、

これをきっかけに興味をいただき、調べたり、知識を身につけられたりと良い経験になったのかもしれない。

図書館の企画は学びが得られ、疑問や好奇心をさらに引き出すものです。そして私に関わる業務は「ここに学びの機会があります！」と伝えることだと考えています。学びはきっかけが無ければ始まりません。機会があると伝え、「気づかせる事」ができるのがメディアの力であると考えます。

「apli (アプリ)」でも案内をしています。「弘前市立図書館を使った調べる学習コンクール」の募集が9月から開始されますね。昨年度は地域コンクールに参加したお二方が全国コンクールに推薦されて佳作を受賞したと聞き、関心をいただきました。私のような勉強と物書きが苦手な人間からすると、本を読んで理解する事自体素晴らしいのに、様々な文献を研究し、上手に文章をまとめあげているのですからとても尊敬します。物事に関心を向け、疑問をいただき、図書館へ足を運び、本を読み、考え、なぜそうなるのか経緯を追って結果を知る：自分が想定していなかった事も学ぶでしょう。結論付けるためにさらに調査する：こうして手を動かし思考した回数が多い分、深く記憶に残りやすいものです。頭の中の本棚に自分だけの本を追加するようであり、困ったときはいつでも引き出すことができ長期的な財産が手に入るのです。突き詰めてまとめあげた一冊は学びと知識だけでなく達成感も得られるでしょうね。価値が十分にあります。この経験は様々な場面で活かされるでしょう。

そういえば昔、理科の先生が「科学は

『なぜ?』と思うことから始まる」と話しました。何気ない現象や常識を一度疑うことで、新たな発見があるかもしれないことを教わりました。

この考え方は科学に限りません。当たり前を疑うことは課題解決と発展の初めの一歩です。そして疑問をいただくには「気づくための環境」があることが大切です。日常の中でふと目についた事から、体験し、調べた先にある学びや知識が、あなたの次の行動を変えるかもしれません。そしてこの知識が、時には困難を乗り越える術になるかもしれません。

皆さんに機会を提供できるよう、『apli (アプリ)』で情報を伝えて参ります。見つけた際はぜひ読んでみてくださいね。

(アップルウェーブ株式会社 営業部)



アップルウェーブでは、弘前市立図書館・郷土文学館に関する情報を発信しています。

■「図書館へ行こう」月々金曜日

■動画配信サイト「アップルストリーム」

■フリーマガジン「apli」(年4回発行)

①8時10分、②17時30分



● イベント実施報告 2月～5月 ●

〔弘前図書館〕3月14日

弘前ライブラリーシネマ

「九十歳。何がめでたい」の再上映



ライブラリーシネマの様子

3月14日、弘前図書館にて「弘前ライブラリーシネマ」を開催し、前回の映画会で好評だった「九十歳。何がめでたい」の再上映を行いました。今回も多くのお申し込みがあり、当日は49名の方にご参加いただきました。草

笛光子演じる佐藤愛子と担当編集者との攻防がコミカルに描かれています。上映中は、皆さんの共感できる場面が多かったようで、映像に合わせて、笑ったり頷いたり映画に集中して楽しんでる様子が見られました。上映終了後も「良かった」「面白かった」「感動した」とのお声をいただきました。何度見ても楽しめる作品となっていますので、今回参加された方も残念ながら参加できなかった方も、弘前図書館にてDVDの貸出をしておりますので、是非ご鑑賞ください。

今後皆さんに興味を持ってもらえるような作品の上映を実施していきますので、次回以降

の開催もご期待いただけたらと思います。

〔弘前図書館〕3月28日

弘前図書館製本講座「豆本を作ろう!!」

手のひらサイズのワイイ豆本作りにチャレンジ!!

弘前図書館で2回目となる今回の製本講座は、図書館のスタッフが講師となり、参加者が5名ずつ4つのグループに分かれ、手のひらサイズの小さな豆本を作りました。最初に豆本セットと見返しを選び、本の各部分の名称などを学んだ後、それぞれ持参した折り紙を表紙にした豆本作りを開始しました。今回作る豆本は、「角背^{かくせ}上製本^{じょうせいほん}」という、本の「背」が平らでハードカバーで仕上げた製本方式です。豆本作りは細かい作業の連続ですが、一つ一つの作業を丁寧に行い、皆さん初めてとは思えない仕上が



参加者の説明を聞きながらスタッフの作り方を

がりで、かわいい豆本がたくさん出来上がりました。自分が作った豆本を撮影したり、「かわいい!!」「家でもぜひ作ってみたい」と話す参加者の方が多く、たいへん盛り上がりました。弘前市立図書館公式Xでは、参加者の皆



さんが作った豆本の写真をアップしておりますので、ぜひご覧ください。

〔岩木図書館〕2月21日

読み聞かせボランティア講習会

読み聞かせをもっと身近に

今年も中央公民館岩木館の小和室で、読み聞かせボランティア講習会を開催しました。講習会は前半・後半の二部構成で行いました。前半の講義では、講師が資料をもとに、読み聞かせを行う上での心構えや絵本の選び方、プログラム構成といった基本的なことについて、自身の体験やボランティア活動を通して感じたことなどを交えながら、より実践的に説明を行いました。参加した方たちも、実際に読み聞かせの型に合わせて絵本を開くなどして熱心な様子で聞いていました。後半は講師2名が聞かせの技術と迫力に、参加した方たちからは感嘆の声が上がっていました。講習会終了後には「講義も実演も参考になりました」「実演が聞



講習会の様子

きです。今後も中央公民館岩木館の小和室で、読み聞かせボランティア講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。



きごたえ、見ごたえがあって、とても素晴らしかったです」などの嬉しいお声をいただきました。

〈岩木図書館〉4月11日～5月10日

HAPPY EGG

ガチャガチャが開く新しい本との出会い

「こどもの読書週間」に合わせて恒例の「HAPPY EGG」を開催しました。ガチャガチャを回して出たタマゴ型カプセルに入っているテーマの本を、特設本棚から選ぶというイベントです。今年は、読んで楽しめる絵本を集めた「どうぶつ」「のりもの」などに加え、なぞなぞや迷路などの遊べる絵本を集めた「チャレンジ」というテーマを新設しました。

カウンターに置かれたガチャガチャに気づいた子どもたちが、吸い寄せられるように近寄り、手を伸ばす姿はとても微笑ましく感じました。また、何が出てくるかドキドキしながら回



新しいテーマを提供する HAPPY EGG

して出たテーマの本を「どれが面白いかなあ？」と一冊一冊真剣な表情で選んでいる子どもたちの様子を見て、「どうか素敵な本との出会いがありますように」と心から思いました。ガチャガチャという遊びを通して新し

い本と出会い、新たな本の楽しみ方を知り、子どもたちの本の世界がさらに広がってくれたら幸いです。

〈こども絵本の森〉2月22日

雑誌の無料配布

今年も大盛況！19種類の雑誌を無料配布！

今年も大人気の、雑誌のバックナンバ―無料配布イベントを開催し、当日は70名の参加がありました。10時の整理券配布時には30名以上の方が待機列を作り、10時の開館と同時にイベントはスタートしました。



雑誌を選んでいる参加者

雑誌はタイトルごとにはなしコーナー内に並べており、1人につき雑誌は3冊、付録は1点まで選ぶことができます。今年も1人10分の入れ替え制でご案内していましたが、回転率が速かったので開始から30分を過ぎたあたりで待機列は解消されました。小さなお子さんからご年配の方まで幅広い年齢の方が参加してください。笑顔でお目当ての雑誌をもらっていく姿がとても印象的でした。1日かけて雑誌163冊と付録30点、全ての配布が終了しました。沢山のご参加ありがとうございます。今回は例年と比べて雑誌が無くなるスピードも速く、ここ

数年でイベント自体が周知されてきたようで嬉しく思います。

〈こども絵本の森〉4月1日～5月12日

こどもの読書週間

もふもふぼくじょうへようこそ！

今年「だいすき♡みんなのもふもふぼくじょう」をテーマに、皆さんのおすすめ本の紹介・展示・貸出を行いました。馬や牛、アルパカなどの動物の形のカードに好きな本について記入して、牧場風景の大きなパネルに貼り付けてもらいました。紹介してくれた本の展示・貸出コーナーは、今回も沢山の人が借りられました。また、館内に設置した手作りの毛並みを触ってどの動物かを当てるクイズコーナーは大人気で、皆さん手触りを確かめて色々な動物を想像しながら答えていました。そして今年の館内のフォトスポットは、牧場風のソフトラーム屋さんです！大人気の店舗では、小さな子どもたちが店員さんになりきって楽しんでるうちにソフトクリームをふるまっています。

おかげさまで今年も春らしいにぎやかなイベントになりました。沢山のご参加ありがとうございます！



子どもたちのおかげで牧場は賑やかに



初めての方も！使ってみよう新システム 資料探し編



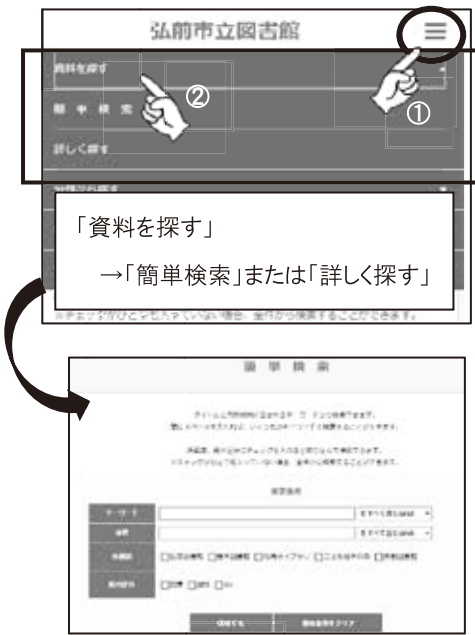
昨年10月から、弘前市立図書館では図書館システムが変更になりました。多くの方にご利用いただけるよう、これから複数回に分けて新システムの使い方を説明していきます。今回は、資料の探し方を解説いたします。

目的の資料を検索する

すでに資料のタイトルや著者が分かっている場合は、弘前市立図書館ホームページ内の「本をさがす」をクリックして出てくる「簡単検索」画面を利用します。さらに「資料をさがす」から「簡単検索」または「詳しく探す」を選択できます。

「簡単検索」画面には、キーワード欄と著者欄があり、タイトルをキーワード欄に入力すると検索することができます。

「詳しく探す」画面では、出版年や出版者、分

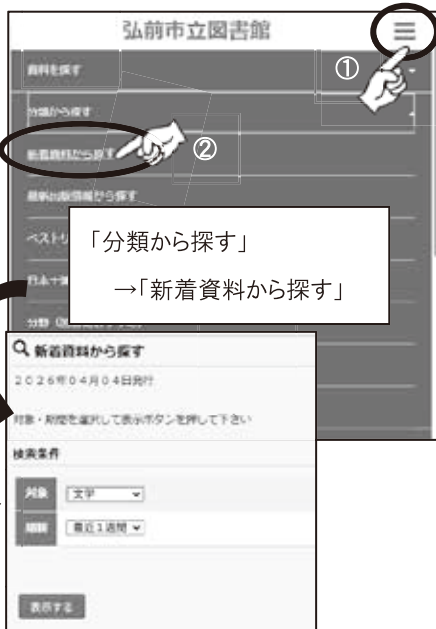


類、資料区分（図書、雑誌、AV）といった、「簡単検索」よりもたくさんの項目を使って調べることができます。

新着資料から探す

特定の資料ではなく「最近図書館が収集した資料を読みたい」といった場合は、「新着資料から探す」を使いましょう。「分類から探す」の中から「新着資料から探す」を選びます。

「新着資料から探す」画面で、探したい新着資料のジャンル（対象）と「期間」を選択します。最近入った本が気になる時は、こちらの機能を使ってみましょう。



対象と期間を選択する。

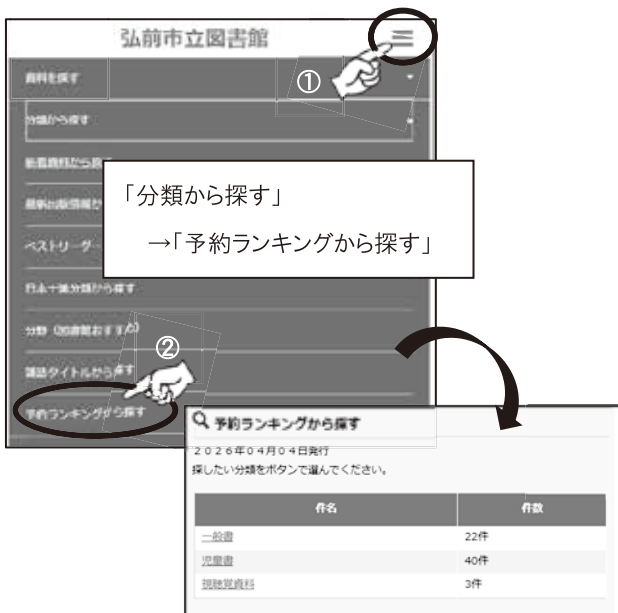
予約ランキングから探す

現在予約がたくさん入っている人気の資料を知りたい、読みたいと思ったら、「予約ランキングから探す」を使ってみましょう。この画面では、ランキング形式で予約が多く入っている資料を知ることができます。

前の項目と同様に、「分類から探す」の中から「予約ランキングから探す」を選びます。

次の画面で一般書・児童書・視聴覚資料それぞれでランキングされていますので、いずれかを選んでください。

予約ランキングで気になる資料があったら、予約やMY本棚に登録をしてみましょう。

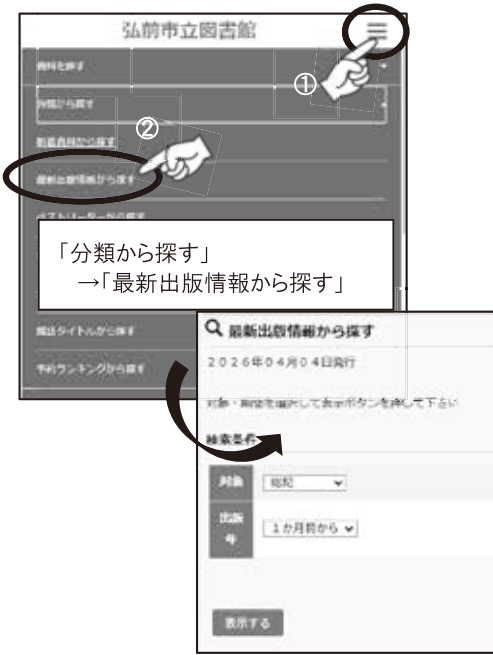


最新出版情報から探す

図書館は、常に出版年の新しい資料ばかりを収集しているわけではありません。時には出版年の古い資料を収集することもあります。先に説明した「新着資料から探す」は、図書館が最近収集した資料を表示しますが、ここで説明する「最新出版情報から探す」は、図書館が収集した資料の中で、出版年が新しい資料を表示する機能です。

こちらと同様に、「分類から探す」の中から「最新出版情報から探す」を選びます。この項目では、探したい資料のジャンル（「対象」と「出版年」）を選択できます。「出版年」は「1か月前から」が最新となります。

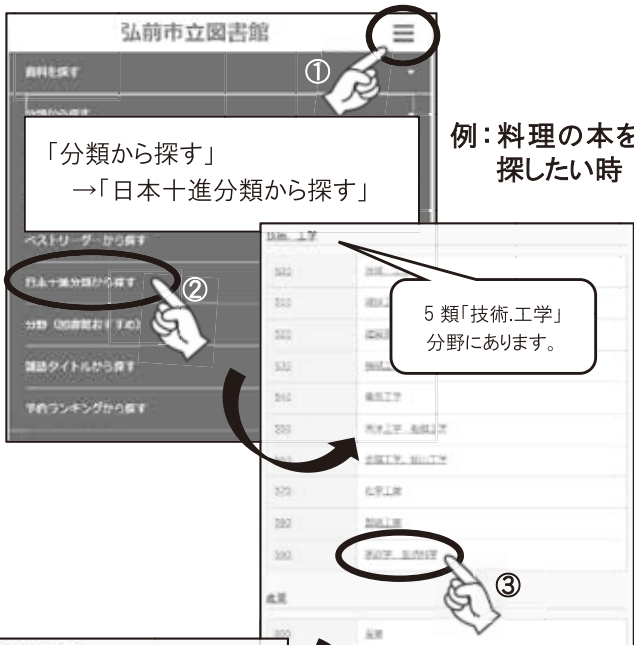
こちらでは、出版年月が古いけれども最近図書館が収集した資料は表示されないので、ご自身の目的に合わせて使い分けましょう。



日本十進分類から探す

「料理の本を探したい」「日本史の本を読みたい」等、分野が決まっている場合は、「日本十進分類から探す」を利用してみましょう。日本十進分類とは、大多数の図書館が採用している分類法です。各資料を数字で分類し、内容が似ている資料が同じ場所に揃うようにしています。図書館の本の背表紙についているラベルの番号がそれです。

「分類から探す」の中から「日本十進分類から探す」を選びます。さらに、数字とその分野にまつわる単語が表示されますので、気になる単語を選びましょう。



最後に

主に使うと思われる検索方法5種類を、今回は紹介しました。しかし、ここでは紹介しきれなかった「雑誌タイトルから探す」や「ベストリーダーから探す」等といった検索方法もありますし、「詳しく探す」でも工夫すると様々な検索ができます。ご自身に合った検索方法を見つけて、図書館資料を探してみてください。

検索画面へ直通のQRコードを左に用意しました。興味が出てきた方は、こちらから資料探しをしてみてください。また、弘前市公式LINEを友だち登録している方は、こちらのメニューからも検索画面に飛ぶことができます。ぜひ利用してみてください。

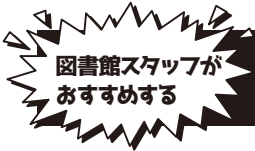
日本十進分類から探す

日本十進分類表【3次区分】
日本十進分類表をボタンで選んでください。

家政学、生活科学

520	家政学、生活科学
501	家政経済 - 経営
502	家政理工学
503	衣服、服飾
504	生業
505	理容、美容
506	食品、料理
507	住居、環境
508	家庭衛生
509	育児





BOOK REVIEW この本がおもしろい!

弘前図書館

『なぜ、おかしの名前はパピペポが多いのか?』

川原繁人/著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
2023年刊



著者が小学生を対象に行った実際の授業にもとづき、対話を再現した本書。タイトルになっている疑問のほか、原始人がどうやってしゃべっていたのか、世界の言葉はなぜ違うのか、といった、言われてみれば大人も分からないような言語に関する疑問を、著者が子どもたちと対話しながら答えていきます。一段上のレベルアップ解説も収録されています。疑問にすら思っただことのない言語の秘密を、この本を読みながら学んでみませんか。

弘前図書館

『ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』

帯木蓬生/著
朝日新聞出版
2017年刊



皆さんは、「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉を知っていますか?これは、焦って答えを出してしまわずに、どちらとも言い切れない状態に耐え抜く力のことをいいます。私たちは、難しい問題に直面すると、とりあえずの答えを出して安心したい気持ちになりがちです。精神医療や文学、歴史上の人物などを通して、知性を発展させたり、他者への想像力へも繋げたりすることのできる、この能力の大切さについて分かる本です。

岩木図書館

『君が夏を走らせる』

瀬尾まいこ/著
新潮社
2017年刊



16歳の不良少年が、ひと夏の間だけ先輩の幼い子どもとの面倒をみることにになり、その出会いが少年の心に変化を起こします。本来ならば関わることはない相手に戸惑いながらも真摯に向き合う主人公の姿勢と、最初は手探りでどこちない二人の関係が徐々に変わっていく様子が丁寧に書かれています。小説は勿論虚構の世界なのですが、読後は「こんな現実があってもいい」…そんな少しだけ優しい気持ちになる一冊です。

弘前図書館

『ミステリな建築 建築なミステリ』

篠田真由美/文
長沖充/イラスト
エクスナレッジ
2024年刊



世界には様々な建築がありますが、中には数奇な運命を辿ったり、変わった形をしていたりする建築があります。明治時代に建てられた和洋入り混じった西洋建築や、イギリスの水晶宮、果てはフィクションの世界であるミステリの中で事件の舞台となった館まで。この本では、建築を題材としたミステリを書く著者が、現実や小説の中にある変わった建築を紹介しています。イラストとともに、不思議な建築の世界に飛び込んでみましょう!

相馬ライブラリー

『アンパンマンと日本人』

柳瀬博一/著
新潮社
2025年刊



昨年、NHKの朝ドラで注目を集めたアンパンマンですが、それ以前から国民的人気キャラクターであることはみなさんがご存じの通りです。本書では作者のやなせたかしの信念やキャリアに焦点を当て、アンパンマンについて考察しています。日本国内では乳幼児に絶大な人気があり、キャラクタービジネスにおいて世界6位まで成長したアンパンマン。他のキャラクターコンテンツとは異なる、独特な存在感と魅力について紐解く一冊です。

こども絵本の森

『植物園の歩き方』

カシワイ/著
グラフィック社
2026年刊



みなさんは植物園に行ったことはありますか?身近なところでは弘前城植物園でしょうか。この本では日本全国にある植物園の中から9か所をピックアップして、著者が訪れたときの体験談をかわいいイラストで紹介しています。日本最古の温室がある京都府立植物園や絶滅危惧種を栽培する筑波実験植物園、カピバラとサボテンになごむ伊豆シャボテン動物公園などなど。著者の目を通して写る植物たちに心癒されてみてはいかがでしょうか?



お知らせ・図書館イベント等の情報 7～9月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
4館合同 (弘前・岩木・こども・相馬) 8月1日 (土)～8月31日 (月)	4館スタンプラリー	【対象】どなたでも 【内容】4館のスタンプを集めた方に特製和綴じミニノートをプレゼント
弘前図書館 7月4日 (土) 10時～12時	調べる学習特別講座 in 弘前図書館	【対象】小学生以上 【定員】10名 (先着順) 【申込】6月1日 (月) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付 ※申込期限は6月28日 (日) まで
弘前図書館 7月11日 (土) 13時～15時	弘前ライブラリーシネマ 『すみっこぐらし 青い月夜のまほうのこ』	【定員】30名 (先着順) 【申込】6月22日 (月) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月18日 (土) 午前の部：10時30分～11時30分 午後の部：13時30分～14時30分	弘前図書館ライブラリースクール 「弘前で学び、世界を握る-モグラ博士 川田伸一郎」 【午前の部】「モグラ博士が語る、モグラの生態」 +超危険生物のおはなし 【午後の部】「標本バカが語る、標本を残すことの 大切さと科博の役割」+超危険生物のおはなし	【対象】小学生以上※保護者付添可 【定員】午前の部、午後の部各50名 (先着順) 【講師】川田伸一郎博士 (国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究 グループ研究主幹) 【申込】6月5日 (金) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 7月25日 (土) 14時～14時40分	第31回 夏休みおはなし会	【対象】小学生 (幼児も可) 【定員】30名 (先着順) 【申込】6月20日 (土) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 ①7月29日 (水) 9時30分～14時30分 ②7月30日 (木) 9時30分～14時30分 ③7月31日 (金) 9時30分～14時30分	図書館のお仕事やってみ隊	【対象】市内の小学校4年生～6年生 【定員】①②③各6名 (先着順) ※①②③のうちいずれかを選択 ※申込方法など詳細は後日発表
弘前図書館 9月19日 (土) 13時30分～15時	弘前図書館市民講座 「弘前が生んだ怪談作家 黒木あるじ- 東北の怪を語る」	【対象】どなたでも 【定員】50名 (先着順) 【講師】黒木あるじ氏 (怪談作家) 【申込】8月7日 (金) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
岩木図書館 7月25日 (土) 10時～10時30分	夏休み応援企画 自分だけの万華鏡を作ろう!	【対象】小学生 【定員】10名 (先着順) 【申込】7月4日 (土) 9時30分から 岩木図書館カウンターまたは電話で受付
こども絵本の森 7月17日 (金)～8月19日 (水)	夏休みおはなしクイズラリー	【対象】小学生まで 【申込】不要
相馬ライブラリー 7月23日 (木)～8月31日 (月)	夏休み特別企画 本のおたのしみくじ2026 inそうま	【対象】相馬ライブラリーで本を借りた方 【申込】不要
相馬ライブラリー 8月9日 (日) 10時30分～11時30分	夏休み特別企画おはなし会 さいたさいたおはなしの花in相馬	【対象】幼児～小学生 【申込】不要

弘前市立図書館 休館のお知らせ

■弘前図書館休館：6月8日 (月)～17日 (水)

蔵書点検のため休館となります。移動図書館車も運行休止となります。

■全館休館：6月18日 (木)

図書館システムメンテナンス作業のため、弘前図書館、岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーが休館となります。

インターネットサービス利用休止のお知らせ

■利用休止日：6月18日 (木)

図書館システムメンテナンス作業のため、インターネットサービス (蔵書検索、予約、延長など) や、利用者ポータルサイトの利用が休止となります。電話やメールなどでのお問い合わせもできませんので、ご了承ください。

弘前図書館	開館時間
	平日 9:30～19:00
	土日祝 9:30～17:00
	休館日…毎月第3木曜日 年末年始 蔵書点検期間
	電話 32-3794

岩木図書館	開館時間
	平日 9:30～19:00
	土日祝 9:30～17:00
	休館日…毎週月曜日 年末年始 蔵書点検期間
	電話 82-1651

こども絵本の森	開館時間
	10:00～18:00
	休館日…毎月第3木曜日 蔵書点検期間
	電話 35-0155

相馬ライブラリー	開館時間
	9:30～17:00
	休館日…毎週水曜日 年末年始 蔵書点検期間
	電話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェブ・弘前ペンクラブ共同事業体

